

つくばで開催 脳の運動会「bスポーツ」！

～ 年齢や身体の障害の有無に関わらず脳だけで戦う 新競技 ～

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 長谷川良平, 跡部悠未

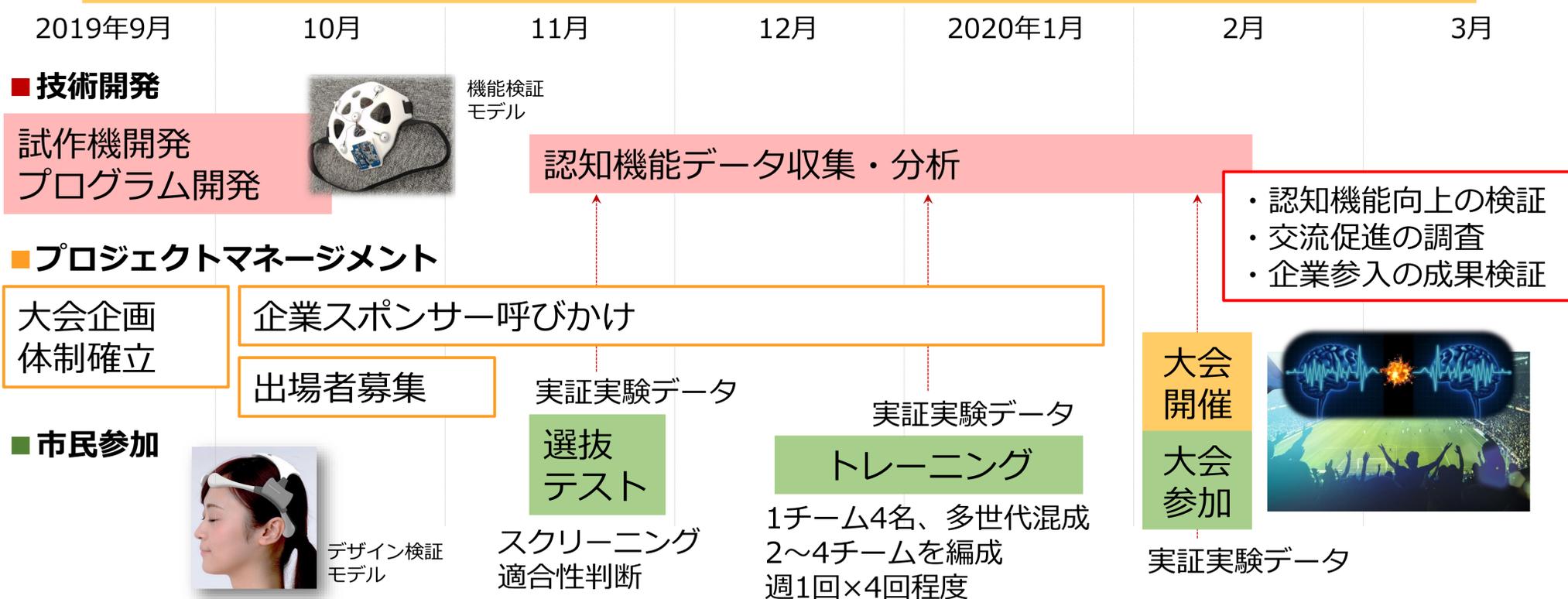
提案の背景

高齢化による認知症増加、少子化による介護者・世代間交流不足により、街機能が低下している。高齢者や障がい者が社会の負担になるのではなく、共存・活躍できる街づくりを脳テレパシー技術によるゲーム競技**bスポーツ** (brain sports) で実現する。

年齢や身体障害の有無に関わらず、同じ競技を同じステージで共に楽しめるbスポーツに挑戦する場をつくる。それにより、高齢者のみならず若者や子供の**健康脳を促進し**、**次世代育成・介護の共生システム**を創り、更にはつくばの科学技術や地元企業との連携により**地域新産業**を創出することで、新たなシナジーを生む街づくりに貢献する。

トライアル概要

1. ニューロトレーナーを用いたbスポーツによる認知機能データ収集
2. 多世代参加型イベント「bスポーツ大会」の開催と継続に向けた取り組み



期待される効果・実現する未来社会

若者と高齢者が共創し、いつまでも脳が健康、街が元気なつくばbモデル

- 3** 3 すべての人に健康と福祉を
bスポーツ参加による認知機能の向上
高齢者の認知症予防をはじめ、若者・成人のメンタルトレーニングや子供の育脳など全ての人の脳健康を促進。
- 11** 11 住み続けられるまちづくりを
bスポーツ参加者どうしの多世代交流促進
多世代混成チームでの大会参加、トレーニングにより共通の話題や目標を共にする交流の機会をつくる。
- 9** 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
bスポーツ参入・連携による地元企業の活性化
大会スポンサーや技術連携などで企業や研究機関の参入を呼び込み、新産業創出、雇用拡大へとつなぐ。

